

## 第 86 回

# IT 経験の活用



皆さん、こんにちは。J1 の K と申します。私は社会人で試験に合格し、前職では IT 企業に勤務しておりました。今回は、監査法人で IT 経験をどのように活用できるかお話いたします。

ちなみに「IT 企業」と一括りに言っても業種や職種は様々です。真っ先に思い浮かぶプログラミング開発の他、IT 製品の導入・運用支援などなど、私の場合、幅広く経験してきました。

まず日常的な業務において、監査調書の作成ではエクセル (Excel) をよく使用します。エクセル操作はもちろんのこと、大量の会計データを集計するようなこともあります。その際、ある程度の IT 知識や経験があれば操作は苦にならず、監査業務に注力できます。

また、監査チームにてパソコン関連で気になることがあった際、何かと重宝されます。アークでは IT サポートグループによる支援体制が整っていますが、ちょっとしたことを聞きたい時など、先輩方から質問されることがあります。

例えば、エクセル操作で画像の貼り付けをもっと効率良くできないか、パソコンの操作中に表示されたこのメッセージは何だろう、など、IT 経験者は希少性が高い分、重宝されます。

この他、監査対象の企業に IT 企業が含まれる場合、IT 経験を活かして見解を示す場面もあります。以前、社内で業務中に他の監査チームのパートナーより、IT の観点から見解を聞かせてほしい旨、お声掛けありました。関連資料を見ると、ソフトウェア制作過程に関する開発資料で、IT 開発者向けの資料でした。資料をもとに、ソフトウェア制作費の会計処理について、IT 経験から見解を示すことで他の監査チームから感謝され、経験が活きたと実感しています。

また、アークでは委員会の単位でも活動しており、監査ツール委員会にて、監査業務に使用する標準ツールを開発しています。最近では、電子監査調書システムの自社開発を行い、間もなく運用予定です。

グローバルファームのツールではなく自社開発、専門組織ではなく組織の垣根を越えた委員会単位での開発はアークならではの、です。監査業務に携わりつつ、IT 経験も活かしたい方には最適です。

以上、監査法人における IT 経験の活用をお話しました。IT 経験がある方だけでなく、今後 IT を武器にされたい方にもお役に立ちますと幸いです。